

早期自立型低強度埋め戻し材

TAC 技術情報
I-020001

施工性に優れた 2 液型の埋め戻し用充填材

●概 要

早期自立型低強度裏込め材は、2 液型の埋め戻し用充填材です。一般に埋め戻しに使用されるエアモルタルや流動化処理土と異なり、早期に強度が発現し、1～3 日で打設場所上の通行および作業が可能となります。

早期自立型低強度裏込め材配合例 1m³ 当り

材料名	A 液						B 液
	硬化材	助材	起泡剤	安定剤	水	空気	塑強調整剤
	タックメント	TAC-β II	TAC-2 号	TAC-Re	清水	空気量	TAC-3G
配合①	120 kg	80 kg	0.5 kg	2.0 kg	737 L	143 L	50 L
配合②	150 kg				727 L		
配合③	180 kg				718 L		

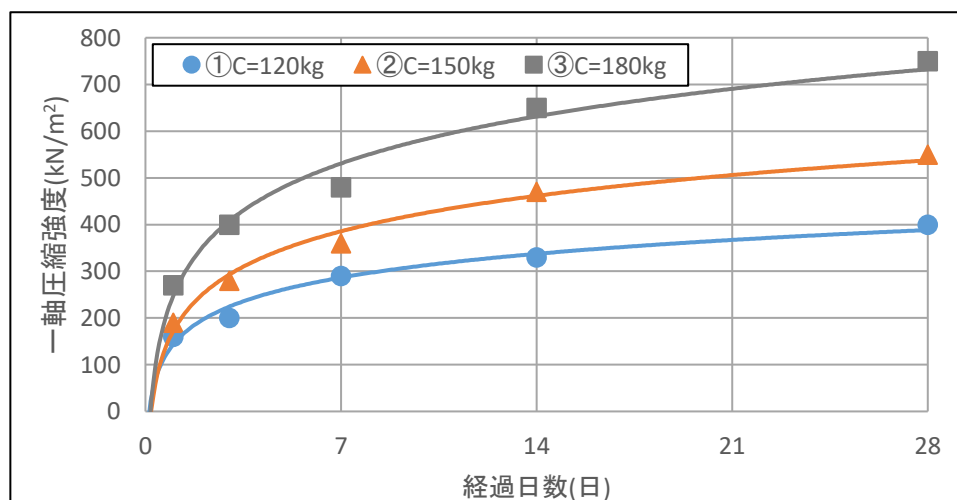
●お客様のメリット

- 打設 1～3 日後で、洪積粘土相当(N=8～15、qu=100～200kN/m²)の強度を発現するため、早期に埋め戻し材上の通行および作業が可能です。また硬化材量が少ないため、打設後強度が増進しすぎることなく、再掘削を行う場合の負担を低減することができます。
- 2 液型であるため、1,000m 以上の相当距離まで A 液と B 液をそれぞれ圧送、先端で混合・ゲル化させることができます。

A 液性状および一軸圧縮強度測定例（気温・水温 20℃養生）

ケース	A 液性状		A 液+B 液性状 一軸圧縮強度 (kN/m ²)				
	単位体積重量 (t/m ³)	フロー値 (mm)	1 日	3 日	7 日	14 日	28 日
配合①	0.99	445	160	200	290	330	400
配合②	1.01	425	190	280	360	470	550
配合③	1.03	405	270	400	480	650	750

【参考】埋め戻し材の変形係数: $E = (0.32 \times \sigma_{28} \text{ (kN/m}^2\text{)}) - 10 = 124 \sim 246 \text{ MN/m}^2$



●特 徴

- A 液のみの性状で、単位体積重量約 1.0 t/m³、フロー値 420 mm 前後と流動性がよく、圧送性に優れています。
- 打設 1～3 日後で 100～200kN/m²と、一般に埋め戻しに使用されるエアモルタルや流動化処理土と比較して早期に強度を発現します。
- シールド工事の裏込めプラントを設置済みの場合、硬化材量を調整することで簡単にご使用いただけます。

タック裏込め材標準配合例

A 液						B 液
硬化材	助材	起泡剤	安定剤	水	空気	塑強調整剤
タックメント	TAC-β II	TAC-2 号	TAC-Re	清水	空気量	TAC-3G
230 kg	80 kg	0.5 kg	2.3 kg	724 L	143 L	50 L



早期自立型低強度裏込め材配合①

120 kg	80 kg	0.5 kg	2.0 kg	737 L	143 L	50 L
--------	-------	--------	--------	-------	-------	------

No.	NAME 名称	TYPE 形式	Kw	Q'ty	NOTE 記事	No.	NAME 名称	TYPE 形式	Kw	Q'ty	NOTE 記事
1.	硬化材サイロ	16.0m ³	7.5+3.7	1/2		7.	助材アジテータ	1.4m ³	2.2	1	
2.	助材サイロ	16.0m ³	7.5+3.7	2/2		8.	助材ミキサ		3.7	1	
3.	貯水槽	4.0m ³ (SUS)				9.	安定剤・起泡剤タンク	0.2m ³ ・0.1m ³		1	
4.	裏込めB液タンク	7.0m ³		1		10.	コンプレッサ		1.5	1	
5.	モルタルミキサ	0.2m ³	2.2	1		11.	裏込めA液注入ポンプ	TBX-50	7.5	1	130L/min1.5MPa
6.	モルタルアジテータ	1.4m ³	3.7	1		12.	裏込めB液注入ポンプ	TBC-32	2.2	1	20L/min1.5MPa

